

2009年度オープンソースソフトウェア活用ビジネス実態調査(調査票)

2009年7月
独立行政法人 情報処理推進機構

貴社のプロフィールについてお尋ねいたします。下記の項目にご記入ください。

貴社名			
回答者名			
回答者所属部署名			
回答者 連絡先	T E L		
	E - M a i l		
貴社所在地		都道府県	市区町村
資本金規模 (該当するものに○)		(A) 1000万円以下 (B) 1000万円超～5000万円未満 (C) 5000万円超～1億円未満 (D) 1億円超～3億円未満 (E) 3億円超～10億円未満 (F) 10億円以上	
従業員数規模 (該当するものに○)		(A) 1人以上～30人未満 (B) 30人以上～100人未満 (C) 100人以上～300人未満 (D) 300人以上～1000人未満 (E) 1000人以上	

※ お名前とご連絡先(TEL・E-mail)を記入いただいた方には、本調査におけるフィードバックレポートを送付させていただきます。

■ここからアンケートが始まります。該当する項目にご記入またはチェック欄に☑を付けてください。なお、回答には別添資料を一部で利用します。その場合は別添資料を参照しながらご回答ください。

■ご回答いただく際には貴社全体の内容でお答え下さい。

■金額記入の欄は、概算で記入していただいて構いません。どうしても回答が難しい場合は、空欄でも構いません。

Part1. 貴社のIT関連事業について

問1-1～1-6 の設問はオープンソースソフトウェア*(以下OSS)を意識していただく必要はありません。

*OSSとは、誰でもソースコードを利用でき、複製・修正(改造)して再配布することが可能なソフトウェアです。具体的なOSSの種類については別添資料①「技術区分と主なOSS 一覧」をご参照ください。

問1-1. 貴社の売上高のうち、IT 関連事業*の売上高を概算で記入してください。(数字を記入)

*IT 関連事業とは、受注ソフトウェア開発、ソフトウェアプロダクト販売、計算事務等情報処理、システム等管理運営受託、データベースサービス、インターネット付随サービス、ハードウェア販売を対象とします。詳細は次ページ下の表をご覧ください。

(注1)直近の会計年度の1年間の実績でお答えください。

(注2)百万円単位でお答えください。百万円未満の場合は1百万円とお答えください。

約()百万円

上記売上高の年度について該当するものを1つお選びください

2008年度 2007年度

問1-2. 貴社のIT関連事業について、1年前から現在にかけての売上高の変化として、当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大
増減率	-10%以下	～-10%	～-5%	±0%	～5%	～10%	10%以上
☑欄(1つ選択)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問1-3. 貴社のIT関連事業について、現在から1年後にかけての売上高の変化見込みとして、当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大
増減率	-10%以下	～-10%	～-5%	±0%	～5%	～10%	10%以上
<input checked="" type="checkbox"/> 欄(1つ選択)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問1-4. 問1-1でお答えになったIT関連事業の売上高について、次に挙げる事業区分での売上高に占める構成割合を概算で記入してください。また、記入欄のある各区分の案件数を記入してください。
(数字を記入)

*案件とは、顧客との契約単位を指しています。

(注1)直近の会計年度1年間の実績でお答えください。

(注2)OSS に関係している/していないに関わらずお答えください。

(注3)「IT関連売上高に占める金額割合」は合計が100%になるように記入してください。

IT 関連事業区分	IT 関連売上高に占める金額割合 (数字を記入)	案件数 (数字を記入)
1. 受注ソフトウェア開発	()%	約()件
2. ソフトウェア・プロダクト	()%	
3. 情報処理サービス	()%	約()件
4. システム等管理運営受託	()%	約()件
5. データベースサービス	()%	
6. インターネット付随サービス	()%	
7. その他 (ハードウェア販売、教育等)	()%	
IT 関連売上高合計	合計 100 %	

各事業区分の概要

IT 関連事業区分	概要
1. 受注ソフトウェア開発	特定のユーザーからの受注により、新たに開発・作成するオーダーメイドのソフトウェアをいい、システムインテグレーション・サービスや保守業務も含める。
2. ソフトウェア・プロダクト	不特定多数のユーザーを対象として開発・作成するイージーオーダーまたはレディメイドのソフトウェアプロダクト。他の企業で開発したソフトウェアであっても、自社ブランド名で販売する場合はここに含める。
3. 情報処理サービス	オンライン情報処理、オフライン情報処理、ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダー)サービス(ソフトウェアの作成から一貫して行うものに限る)、情報処理コンサルティングサービス(IT関連投資に係わる企画コンサルティングのみ)
4. システム等管理運営受託	ユーザーの情報処理システム、電子計算機室などの管理運営を受託するサービス業務、アウトソーシングサービス(インターネットデータセンターは含めない)。
5. データベースサービス	コンピュータに各種データを収集、加工、蓄積し、要求に応じて情報として提供する業務。インターネットなどのネットワーク経由でのデータベースの提供業務も含む。(情報の収集、加工を行い、情報提供を行っているものに限る。)
6. インターネット付随サービス	ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダー)業務(ソフトウェアの作成を伴わないもの)、IDC(インターネットデータセンター)業務、コンテンツ配信業務(ただし、不動産情報、気象情報及び経済情報等の情報を収集・加工し、情報の提供を行う業務は、「データベースサービス」に含める。)、インターネットを利用する事業等をサポートするサービス業務(広告のためにインターネット上に場所を提供している広告媒体等のポータル事業及び課金・決済・回収代行等のプラットフォーム事業等)
7. その他 (ハードウェア販売、教育等)	ハードウェア販売、情報サービス業に関わる研修・講師、データパンチなど。

※組込みソフトウェアについて

事業の対象としているソフトウェアが自動車、携帯電話、情報家電、ロボット等の機器(固有)に製造段階で実装されているいわゆる「組込みソフトウェア」である場合も、上記1. ないしは2. のいずれかに含めてお考えください。

問1-5. 問1-1 でお答えになったIT 関連事業の売上高について、次に挙げるIT ソリューション区分*での売上高に占める構成割合を概算で記入してください。(数字を記入)

*IT ソリューション区分については別添資料②「IT ソリューション区分」を参照してください

(注1)直近の会計年度1年間の実績でお答えください。

(注2)OSSに関係している/していないに関わらずお答えください。

(注3)合計が100%になるように記入してください。

IT ソリューション区分	IT 関連売上高に占める金額割合 (数字を記入)
1. インフラソリューション	()%
2. 基幹系システムソリューション	()%
3. 管理系システムソリューション	()%
4. 情報系システムソリューション	()%
5. 運用・保守ソリューション	()%
6. 情報提供ソリューション	()%
7. 組込み系システムソリューション	()%
8. その他(ハードウェア販売、教育等)	()%
IT 関連売上高合計	合計 100 %

主たるIT関連事業が「受注ソフトウェア開発」「情報処理サービス」「システム等管理運営受託」の方は下記の設問にお答えください。

問1-6. 貴社のIT 関連事業の最も平均的な案件*を想定してください。貴社のIT 技術者(協力会社等の社外の技術者は除く)が、その案件で費やした総工数のうち、下記業務の工数の割合を概算で記入してください。(数字を記入)

*案件とは、顧客との契約単位を指しています。

(注1)直近の会計年度1年以内の案件の実績でお答えください。

(注2)OSSが関係している/していないに関わらずお答えください。

(注3)合計が100%になるように記入してください。

(注4)社外に委託している協力会社技術者などの工数は含めないでください。

業務	総工数に占める割合 (数字を記入)
1. OS(Operating System)に関する業務	()%
2. ミドルウェアに関する業務	()%
3. パッケージ型ソフトウェアに関する業務	()%
4. アプリケーション開発に関する業務	()%
5. 運用・保守に関する業務	()%
6. 上記以外の業務	()%
工数合計	合計 100 %

■ 次の設問以降はオープンソースソフトウェア(以下 OSS)に関して伺います ■

Part2. 貴社の OSS の利用状況・体制について

問 2-1. 現在、貴社の OSS に対する取り組み方針として当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

OSS に対する取り組み方針	☑欄(1つ選択)
1. 主たる事業として積極的に OSS に取り組む方針である	<input type="checkbox"/>
2. サービスメニューの1つとして OSS に取り組む方針である	<input type="checkbox"/>
3. OSS には取り組まない方針である	<input type="checkbox"/>
4. 現在、OSS に対する方針を検討中である	<input type="checkbox"/>
5. OSS に対する明確な取り組み方針はない(未検討)	<input type="checkbox"/>

問2-2. 現在、貴社のOSS 利用度合いとして当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

OSS の利用度	☑欄(1つ選択)
1. 顧客向けシステムでの OSS 利用実績が多く、十分な知識と経験がある	<input type="checkbox"/>
2. 顧客向けシステムでの OSS 利用実績は少ないが、実績はある	<input type="checkbox"/>
3. OSS の利用は自社利用のみである	<input type="checkbox"/>
4. OSS 利用を検討している段階である	<input type="checkbox"/>
5. OSS に興味はあるが、特に何もしていない	<input type="checkbox"/>
6. OSS に興味はない	<input type="checkbox"/>

問 2-2 で「1. 顧客向けシステムでの OSS 利用実績が多く、十分な知識と経験がある」「2. 顧客向けシステムでの OSS 利用実績は少ないが、実績はある」のいずれかに回答された方は下記の設問にお答えください。

問2-3. 昨今の経済状況下における OSS 活用ビジネスへの影響について、貴社の状況に最も近いものを選択してください。(1つ選択)

昨今の経済状況下における OSS 活用ビジネスへの影響	☑欄(1つ選択)
1. OSS 活用ビジネスは不況により、以前より商用製品に対する競争力が高まり良好になっている	<input type="checkbox"/>
2. OSS 活用ビジネスは商用製品によるビジネスに比べて不況による悪影響が小さい	<input type="checkbox"/>
3. OSS、商用製品の別を問わず、不況の影響は同程度である	<input type="checkbox"/>
4. その他()	<input type="checkbox"/>

問 2-4. 昨今の経済状況下における OSS 活用ビジネスへの具体的な影響のうち、貴社のビジネスにあてはまるものを全てお答えください。(複数選択可)

昨今の経済状況下における OSS 活用ビジネスへの影響	☑欄(複数選択)可
1. 商用製品より低コストで開発できる OSS 活用のシステム開発案件が増えている	<input type="checkbox"/>
2. 顧客が店舗より低コストで設置・運営可能なネット販売を増やしており、その基盤等の開発の OSS 活用案件が増えている	<input type="checkbox"/>
3. 顧客が低コスト化のため仮想化技術を用いてサーバ統合を進めており、そのサポートのための OSS 活用案件が増えている	<input type="checkbox"/>
4. その他()	<input type="checkbox"/>

問 2-2 で「3. OSS の利用は自社利用のみである」「4. OSS 利用を検討している段階である」「5. OSS に興味はあるが、特に何もしていない」のいずれかに回答された方は下記の設問にお答えください。

問 2-5. 今後、3年以内に、貴社で顧客向けシステムでの OSS 利用を予定していますか。貴社の状況に最も近いものを1つお選びください。(1つ選択)

OSS の利用度	☑欄(1つ選択)
1. 顧客向けシステムでの OSS 利用を予定している	<input type="checkbox"/>
2. 顧客向けシステムでの OSS 利用を検討している	<input type="checkbox"/>
3. 顧客向けシステムでの OSS 利用を検討していないが、利用希望はある	<input type="checkbox"/>
4. 顧客向けシステムでの OSS 利用は考えていない	<input type="checkbox"/>

問2-6. 問2-5 で「1. 顧客向けシステムでのOSS利用を予定している」、「2. 顧客向けシステムでのOSS利用を検討している」、「3. 顧客向けシステムでのOSS利用を検討していないが、利用希望はある」と回答いただいた企業に伺います。

貴社がOSSの利用をする際には、IT関連事業の売上高に対するOSS案件*の売上高の割合を、どの程度にしたいと考えていますか。最もあてはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

*OSS 案件とはOS、サーバ・ミドルウェア、アプリケーション開発、パッケージ型ソフトウェア、運用保守等において、OSSを1つでも使用している案件と定義します。

IT関連事業の売上高に対するOSS案件*の売上高の割合

()

<選択肢群>

(A) 1～10% (B) 11～20% (C) 21～30% (D) 31～40% (E) 41～50%
 (F) 51～60% (G) 61～70% (H) 71～80% (I) 81～90% (J) 91～100%

問2-7. 貴社内存在する(a)サーバの台数を記入してください。(数字を記入) (b)また、そのサーバOSの構成割合(インストールの数)を概算で記入してください。(数字を記入)

(a)サーバの台数

約()台

(b)サーバ OS の構成割合 (注)合計が 100%になるように記入してください。

OSの種類	構成割合 (数字を記入)
1. Windows	約()%
2. Unix	約()%
3. Linux	約()%
4. その他	約()%
貴社内存在するサーバ OS の合計	合計 100 %

問2-8. 貴社のIT 技術者(協会社社員や派遣社員は除く)の総数と、OSS 技術者*の数をそれぞれ概算で記入してください。(数字を記入)

*OSS技術者とは、業務としてOSSを一部にでも利用しているIT技術者を指します。

IT技術者の総数

約()人

うちOSS技術者*の数

約()人

問 2-9. 貴社の OSS 技術者の充足感として当てはまるものを技術区分*ごとに表外の選択肢群から選択してください。(アルファベットを記入)

*技術区分については別添資料①「技術区分と主な OSS 一覧」を参照ください。

技術区分	OSS 技術者の充足感 (表外の選択肢群から1つ選択)
1. OS(Linux 等)の技術者数	()
2. ミドルウェアの技術者数	()
3. パッケージ型ソフトウェアの技術者数	()
4. アプリケーション開発の技術者数	()
5. 運用・保守ツールの技術者数	()

<選択肢群>

(A) 十分足りている

(B) 足りている

(C) どちらともいえない

(D) 不足している

(E) かなり不足している

(F) 必要ない

問 2-10. 貴社では、OSS 技術者に必要な能力を付けてもらうためにどのような取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

取組内容	<input checked="" type="checkbox"/> 欄 (複数選択可)
1. 外部研修への参加	<input type="checkbox"/>
2. 社外勉強会・企業交流会への参加	<input type="checkbox"/>
3. 社内研修の実施	<input type="checkbox"/>
4. OJTの実施	<input type="checkbox"/>
5. 公的・ベンダー等の資格取得	<input type="checkbox"/>
6. 技術レベルに応じた処遇、インセンティブの付与	<input type="checkbox"/>
7. 部門内ローテーションの実施	<input type="checkbox"/>
8. ビジネス部門(ユーザ部門)とのローテーションの実施	<input type="checkbox"/>
9. 関係企業(情報子会社等)への出向	<input type="checkbox"/>
10. 当てはまるものはない	<input type="checkbox"/>

Part3. 貴社の OSS の利用状況・体制について

問3-1. IT関連事業について次に挙げる各事業区分の開発・運用等におけるOSSの利用割合(開発・保守工数や利用プロダクト数における割合等を総合的にみたおよその割合)を概算で記入してください。
(数字を記入)

(注1)直近の会計年度1 年間の実績でお答えください。

IT 関連事業区分	OSS の利用割合 (数字を記入)
1. 受注ソフトウェア開発	()%
2. ソフトウェア・プロダクト	()%
3. 情報処理サービス	()%
4. システム等管理運営受託	()%
5. データベースサービス	()%
6. インターネット付随サービス	()%
7. その他 (ハードウェア販売、教育等)	()%

問3-2. 次に挙げる技術区分のOSSについて、貴社のIT関連事業における位置づけに最も近いものを表外の選択肢群からそれぞれ1つお選びください。(アルファベットを記入)

技術区分	OSS の位置づけ (表外を選択肢群から1つ選択)
1. OS (Linux 等)	()
2. ミドルウェア	()
3. パッケージ型ソフトウェア	()
4. アプリケーション開発	()
5. 運用・保守ツール	()

<選択肢群>

- (A) 最有力な選択肢
- (B) 商用製品(非OSS)と同等の選択肢
- (C) 商用製品(非OSS)より位置づけは低い、選択肢になることもある
- (D) 選択肢にならない
- (E) 選択肢になるかどうかわからない

問3-3. 次に挙げる技術区分の中で

- (a) 現在、貴社がOSS を利用しているものを全て選択してください(複数選択可)。
 (b) また、当該区分における全利用プロダクトに対するOSSの割合(インストールの数)を、表外の選択肢群から選択して下さい。(アルファベットを記入)。
 (c) さらに、当該区分でOSSを利用しているものについては、組込みソフトウェアに関連するものの割合を、表外の選択肢群から選択して下さい。(アルファベットを記入)。

技術区分	(a) <input type="checkbox"/> 欄 (複数選択可)	(b) OSS の割合 (表外の選択肢群から1つ選択)		(c) 組込みソフトウェアに関連するものの割合 (表外の選択肢群から1つ選択)
		社内	対顧客	
1. 全「OS」に占める OSS (Linux 等) の割合	<input type="checkbox"/>	()	()	()
2. 全「ミドルウェア」に占める OSS の割合	<input type="checkbox"/>	()	()	()
3. 全「パッケージ型ソフトウェア」に占める OSS の割合	<input type="checkbox"/>	()	()	()
4. 全「アプリケーション開発(ツール)」に占める OSS の割合	<input type="checkbox"/>	()	()	()
5. 全「運用・保守ツール」に占める OSS の割合	<input type="checkbox"/>	()	()	()
6. 使っていない	<input type="checkbox"/>	—	—	—
7. わからない	<input type="checkbox"/>	—	—	—

<選択肢群>

(A) 0% (B) 1~20% (C) 21~40% (D) 41~60% (E) 61~80% (F) 81~100%

問3-4. SaaSやクラウドコンピューティングなどユーザが比較的安価に自分のニーズにあったITサービスを利用できるような、新たなITビジネスモデルが注目されつつあります。このようなITサービス市場の変化は御社のOSS利用に影響をされるとお考えでしょうか。最も近いものを1つお選び下さい。

OSS 利用に対する影響	<input type="checkbox"/> 欄(1つ選択)
1. このようなサービスは OSS 利用と競合するため結果として OSS の利用を抑制する	<input type="checkbox"/>
2. このようなサービスは顧客に従来システムの革新を促すため、結果として OSS の利用も促進する	<input type="checkbox"/>
3. このようなサービスの普及と OSS の利用とは関係しない	<input type="checkbox"/>
4. このようなサービスはそれほど普及しない	<input type="checkbox"/>
5. このようなサービスの内容自体がよくわからない	<input type="checkbox"/>

問3-5. SaaS やクラウドコンピューティングの普及に伴って、以下のような OSS 活用ビジネスが出現していると考えられます。貴社において取り組まれているものをいくつでもお選びください。

取組内容	<input type="checkbox"/> 欄(複数選択可)
1. SaaS提供におけるOSSの活用	<input type="checkbox"/>
2. クラウドコンピューティングサービスの基盤構築におけるOSSの活用	<input type="checkbox"/>
3. SaaSのカスタマイズや付加価値向上のサービスにおけるOSSの活用	<input type="checkbox"/>
4. 自社内の業務基盤構築におけるクラウドコンピューティング導入に伴うOSSの活用	<input type="checkbox"/>
5. 仮想化技術導入に伴うOSSの活用(ライセンス管理面のメリットなど)	<input type="checkbox"/>
6. クラウドコンピューティングやSaaS事業者へのOSSの専門的な技術サポート	<input type="checkbox"/>
7. その他()	<input type="checkbox"/>
8. 取り組んでいるものはない	<input type="checkbox"/>

主たるIT関連事業が「受注ソフトウェア開発」「情報処理サービス」「システム等管理運営受託」の方は下記の設問にお答えください。

問3-6. 貴社のIT 関連事業におけるOSS 案件*の件数を概算で記入してください。

*OSS 案件とはOS、サーバ・ミドルウェア、アプリケーション開発、パッケージ型ソフトウェア、運用保守等において、OSS を1つでも使用している案件と定義します。

(注)直近の会計年度の1 年間の実績でお答えください。

約()件

問3-7. 問3-6 でご回答いただいたOSS 案件から、最も平均的な案件を想定してください。貴社のOSS 案件の平均的な売上高を概算で記入してください。(数字を記入)

(注2)対象案件が複数ある場合は、平均的な割合、もしくは代表的な案件を想定してお答えいただいても結構です。

OSS案件の平均的な売上高

約()万円

問3-8. 問3-6 でご回答いただいたOSS 案件から、最も平均的な案件を想定してください。貴社のIT技術者(協力会社等の社外の技術者は除く)が、その案件に掛かる総工数の中で、OSSを利用した業務*に投入した工数の割合を概算で記入してください。(数字を記入)

*OSS を利用した業務とは、OSS に関わる詳細設計業務、開発業務、運用・保守業務等を指しています。

(注1)対象案件が複数ある場合は、平均的な割合、もしくは代表的な案件を想定してお答えいただいても結構です。

(注2)社外に委託している協力会社技術者などの作業時間は含めないでください。

OSSを利用した業務*に投入した工数の割合

約()%

問3-9. IT ソリューション区分*別に問3-6 で記載したOSS件数の割合を概算で記入してください。

*IT ソリューション区分については、別添資料②「IT ソリューション区分」を参照ください。

IT ソリューション区分	構成割合 (数字を記入)
1. インフラソリューション	()%
2. 基幹系システムソリューション	()%
3. 管理系システムソリューション	()%
4. 情報系システムソリューション	()%
5. 運用・保守ソリューション	()%
6. 組込み系システムソリューション	()%
7. その他(ハードウェア販売、教育等)	()%
OSS 案件の合計	合計 100 %

Part4. 貴社にとってのOSSのメリット・デメリットについて

問4-1. 貴社にとってのOSSのメリットを選択してください。(複数選択可)

貴社にとってのOSSのメリット	☑欄 (複数選択可)
1. 多くの種類のOSSから自社にあったものを利用できること	<input type="checkbox"/>
2. 特定ベンダーに依存していないこと	<input type="checkbox"/>
3. ソースコードを参照し、変更することができること	<input type="checkbox"/>
4. 低価格で顧客に提供できること	<input type="checkbox"/>
5. 関連情報がインターネット上に豊富に存在していること	<input type="checkbox"/>
6. OSSにより他社との差別化が図れること	<input type="checkbox"/>
7. 一部のOSSに特化することで、当該分野での受注率が向上すること	<input type="checkbox"/>
8. 下請け割合が削減し、元請割合が増えると思われること	<input type="checkbox"/>
9. 開発スピードを向上させることができること(納期の短縮)	<input type="checkbox"/>
10. OSSに取り組むことで先進性がアピールできること	<input type="checkbox"/>
11. セキュリティ対策がしやすいこと	<input type="checkbox"/>
12. 技術者の数が多いこと	<input type="checkbox"/>
13. その他 ()	<input type="checkbox"/>

問4-2. 貴社にとってのOSSのデメリットを選択してください。(複数選択可)

貴社にとってのOSSのデメリット	☑欄 (複数選択可)
1. 自社の商用パッケージと競合すること	<input type="checkbox"/>
2. 商用パッケージを利用しないため、売上高が下がること	<input type="checkbox"/>
3. 緊急時の技術的サポートが得にくいこと	<input type="checkbox"/>
4. バグの改修や顧客からの要請対応に手間がかかること	<input type="checkbox"/>
5. 利用しているOSSがいつまで存続するかわからないこと	<input type="checkbox"/>
6. 常に機能が付加されており開発スケジュールが設定しにくいこと	<input type="checkbox"/>
7. 将来のバージョンアップの計画が把握しにくいこと	<input type="checkbox"/>
8. コミュニティの開発計画と顧客の開発要請が合わないこと	<input type="checkbox"/>
9. トータルでは顧客のIT投資額が高くなる懸念があること	<input type="checkbox"/>
10. 顧客が自らソースコードを書き換えてしまう可能性があること	<input type="checkbox"/>
11. セキュリティホールに対するコミュニティの対応に不安があること	<input type="checkbox"/>
12. その他()	<input type="checkbox"/>

Part5. 貴社の OSS 利用状況の変化について

主たるIT関連事業が「受注ソフトウェア開発」「情報処理サービス」「システム等管理運営受託」の方は下記の設問にお答えください。

問5-1. 次にあげる技術区分*ごとに、貴社の顧客向けOSS案件の売上高に関する、1年前から現在にかけての変化として、当てはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

*技術区分については別添資料1「技術区分と主なOSS一覧」を参照ください。

技術区分	1年前との比較 (表外の選択肢群から1つ選択)
1. OS (Linux 等)	()
2. ミドルウェア	()
3. パッケージ型ソフトウェア	()
4. アプリケーション開発	()
5. 運用・保守ツール	()

<選択肢群>

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大	(H)1年前も現在もOSSは使っていない
増減率	-10%以下	~-10%	~-5%	±0%	~5%	~10%	10%以上	

問5-2. 次にあげる技術区分*ごとに、(a)貴社の顧客向けOSS案件の売上高に関する、現在から1年後の変化の見込みとして、当てはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。(b)また、1年後に想定される主たる導入先を○で囲んでください(1つ選択)。(c)今後、最も利用したいOSSを別添資料①「技術区分と主なOSS一覧」から選択し「番号」を記入してください。(最大2つ選択)

*技術区分については別添資料①「技術区分と主なOSS一覧」を参照ください。

技術区分	(a)現在から1年後の変化の見込み (表外選択肢群から1つ選択)	(b)1年後の主たる導入先 (○で囲む)	(c)OSSの種類 (別添資料①から選択)
1. OS (Linux 等)	()	社内・対顧客	A-() A-()
2. ミドルウェア	()	社内・対顧客	B-() B-()
3. パッケージ型ソフトウェア	()	社内・対顧客	C-() C-()
4. アプリケーション開発	()	社内・対顧客	D-() D-()
5. 運用・保守ツール	()	社内・対顧客	E-() E-()

<選択肢群>

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大	(H)現在も1年後もOSSは使わない
増減率	-10%以下	~-10%	~-5%	±0%	~5%	~10%	10%以上	

主たるIT関連事業が「データベースサービス」、「インターネット付随サービス」の方は下記の設問にお答えください。

問5-3. 「データベースサービス」、「インターネット付随サービス」の売上があるとお答えの企業に伺います。OSSを使ったシステムによる貴社サービスについて、1年前から現在にかけての売上高の変化として、当てはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

〈選択肢群〉

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大	(H) OSSを使ったシステムによるサービスは提供していない
増減率	-10%以下	~-10%	~-5%	±0%	~5%	~10%	10%以上	
☑欄(1つ選択)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問5-4. 「データベースサービス」、「インターネット付随サービス」の売上があるとお答えの企業に伺います。OSSを使ったシステムによる貴社サービスについて、現在から1年後にかけての売上高の変化見込みとして、当てはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

〈選択肢群〉

選択肢名	(A)大幅に減少	(B)減少	(C)少し減少	(D)現状維持	(E)少し拡大	(F)拡大	(G)大幅に拡大	(H) OSSを使ったシステムによるサービスは提供しない
増減率	-10%以下	~-10%	~-5%	±0%	~5%	~10%	10%以上	
☑欄(1つ選択)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Part6. OSS 市場全体について

問6-1. 前回実施された調査では今後の我が国のOSS市場の伸びについて下表のように年平均成長率約4%という結果になりましたが、御社からみてOSS市場全体は今後どのようになるとお考えでしょうか。最も近いものを1つお選び下さい。

今後の OSS 市場の予測成長率(年平均)	☑欄(1つ選択)
1. 前回の予測の 2 倍(年率 8%) 以上になる	<input type="checkbox"/>
2. 前回の予測の 2 倍(年率 8%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
3. 前回の予測の 1.5 倍(年率 6%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
4. 前回の予測の 1.2 倍(年率 5%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
5. 前回の予測の通り(年率 4%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
6. 前回の予測の 0.8 倍(年率 3%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
7. 前回の予測の 0.5 倍(年率 2%) 程度になる	<input type="checkbox"/>
8. 前回の予測の 0.5 倍(年率 2%) 未満になる	<input type="checkbox"/>
9. 今後の OSS 市場はマイナス成長になる	<input type="checkbox"/>

◆ 前回調査の予測結果 ◆

	OSS案件の市場規模 (億円)	全体の平均年成長率 (%)	全体の3年単位の平均成長率(%)
現在	約6,900	—	—
3年後	約7,800	4.2	13.0

Part7. 貴社にとってのOSS利用の阻害要因について

問7-1. OSSの利用に当たって、貴社が不足していると感じている人材(人材確保上の課題)を選択してください。(複数選択可)

不足している人材	☑欄 (複数選択可)
1. OSSに総合的に精通した上級技術者	<input type="checkbox"/>
2. OSS案件をマネジメントできる人材	<input type="checkbox"/>
3. システム全体の中でOSSを利用すべき部分を見極める人材	<input type="checkbox"/>
4. 顧客業務の細かなニーズに合わせてOSSを改変できる人材	<input type="checkbox"/>
5. 複数のOSSに精通する人材	<input type="checkbox"/>
6. OSSそのものを開発する人材	<input type="checkbox"/>
7. その他()	<input type="checkbox"/>

問7-2. OSSの利用に当たって、貴社が感じている人材育成面の課題を選択してください。(複数選択可)

人材育成面の課題	☑欄 (複数選択可)
1. OSS技術者を育成する研修機関が少ないこと	<input type="checkbox"/>
2. OSS技術者を育成するIT系の教育機関(大学、専門学校等)が少ないこと	<input type="checkbox"/>
3. OSS技術者が参照する体系的な学習教材が少ないこと	<input type="checkbox"/>
4. OSS技術者のレベルを評価するノウハウがないこと	<input type="checkbox"/>
5. OSS技術者のレベルを客観的に評価できる資格等がないこと	<input type="checkbox"/>
6. その他()	<input type="checkbox"/>

問7-3. OSS利用に当たって、貴社が感じているサポート面の課題を選択してください。(複数選択可)

サポート面の課題	☑欄 (複数選択可)
1. OSSの専門的な技術サポートを緊急時に受けられないこと	<input type="checkbox"/>
2. OSSのサポートを受けられる先が少ないこと	<input type="checkbox"/>
3. OSSのサポートが必要な部分だけ柔軟に受けられないこと	<input type="checkbox"/>
4. OSSのコミュニティが充実していない(活発でない)こと	<input type="checkbox"/>
5. OSSのコミュニティにどのように接触してよいか分からないこと	<input type="checkbox"/>
6. OSS利用に参考となる資料が少ないこと	<input type="checkbox"/>
7. OSS利用に参考となる資料が日本語でないこと	<input type="checkbox"/>
8. わからない	<input type="checkbox"/>
9. その他()	<input type="checkbox"/>

問7-4. 問7-3でお答えのOSSのサポート面での課題の内容を具体的にご記入ください。

問7-5. OSS利用に当たって、貴社が感じているライセンス面の課題を選択してください。(複数選択可)

ライセンス面の課題	☑欄 (複数選択可)
1. ライセンスが複雑で把握しにくいこと	<input type="checkbox"/>
2. ソフトウェアの知的財産権(著作権/特許権等)に関する訴訟リスクを感じる	<input type="checkbox"/>
3. ライセンスを把握している人材が社内にはいないこと	<input type="checkbox"/>
4. ライセンスしただいで自社が付加したソースコードを公開する必要があること	<input type="checkbox"/>
5. ライセンスに関して社外に問い合わせできる先がないこと	<input type="checkbox"/>
6. ライセンスを解りやすく説明する資料がないこと	<input type="checkbox"/>
7. わからない	<input type="checkbox"/>
8. その他()	<input type="checkbox"/>

問7-6. 問7-5でお答えのOSSのライセンス面での課題の内容を具体的にご記入ください。

問7-7. OSS利用に当たって、貴社が感じているその他の課題を選択してください。(複数選択可)

その他の課題	☑欄 (複数選択可)
1. OSSを利用したシステム構築の経験が足りないこと	<input type="checkbox"/>
2. 自社の得意とするOSSに合うアライアンス先を探しにくいこと	<input type="checkbox"/>
3. OSSを利用したソリューション営業力が弱いこと	<input type="checkbox"/>
4. 現場と経営層のOSSに対する知識レベルや、意識レベルが異なること	<input type="checkbox"/>
5. OSSの認知度が一般的に低いこと	<input type="checkbox"/>
6. 種類が多すぎるため、本当に利用価値のあるOSSがわかりにくいこと	<input type="checkbox"/>
7. OSSの個別技術・ソフトウェアの評価・成熟度が把握しにくいこと	<input type="checkbox"/>
8. 顧客側にOSSに対する不安が存在すること	<input type="checkbox"/>
9. わからない	<input type="checkbox"/>
10. その他()	<input type="checkbox"/>

問7-8. 問7-1～7-7でお答えいただいた課題が、仮に全て解決した場合、今後の貴社のOSSの利用意向として当てはまるものを選択してください。(1つ選択)

課題が解決した際の今後の利用動向	☑欄 (1つ選択)
1. 大幅に拡大したい	<input type="checkbox"/>
2. 拡大したい	<input type="checkbox"/>
3. 変わらない	<input type="checkbox"/>
4. わからない	<input type="checkbox"/>

主たるIT関連事業が「受注ソフトウェア開発」「情報処理サービス」「システム等管理運営受託」の方は下記の設問にお答えください。

問7-9. 問7-8で「1. 大幅に拡大したい」、「2. 拡大したい」と回答いただいた企業に伺います。今後3年程度でOSSを利用した案件を拡大させたい程度として、最も近いものを選択してください(1つ選択)。
*OSS案件とはOS、サーバ・ミドルウェア、アプリケーション開発、パッケージ型ソフトウェア、運用保守等において、OSSを1つでも使用している案件と定義します。

拡大させたい程度	☑欄 (1つ選択)
1. OSSを利用した案件の数をこれまでの1.5倍程度に増やしたい	<input type="checkbox"/>
2. OSSを利用した案件の数をこれまでの2倍程度に増やしたい	<input type="checkbox"/>
3. OSSを利用した案件の数をこれまでの3倍程度に増やしたい	<input type="checkbox"/>
4. OSSを利用した案件の数をこれまでの5倍程度に増やしたい	<input type="checkbox"/>
5. 上記以外 ()倍	<input type="checkbox"/>
6. これまでOSSを利用してこなかったが、全案件の()割をOSS案件*としていきたい	<input type="checkbox"/>

問7-10. 問7-8で「1. 大幅に拡大したい」、「2. 拡大したい」と回答いただいた企業に伺います。貴社がOSSの利用を拡大する際には、IT関連事業の売上高に対するOSS案件*の売上高の割合を、今後3年程度でどの程度にしたいと考えていますか。最もあてはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

*OSS 案件とはOS、サーバ・ミドルウェア、アプリケーション開発、パッケージ型ソフトウェア、運用保守等において、OSSを1つでも使用している案件と定義します。

IT関連事業の売上高に対するOSS案件*の売上高の割合

()

<選択肢群>

(A) 1~10% (B) 11~20% (C) 21~30% (D) 31~40% (E) 41~50%
(F) 51~60% (G) 61~70% (H) 71~80% (I) 81~90% (J) 91~100%

主たるIT関連事業が「データベースサービス」「インターネット付随サービス」の方は下記の設問にお答えください。

問7-11. 問7-8で「1. 大幅に拡大したい」、「2. 拡大したい」と回答いただいた企業に伺います。IT関連事業の売上高に対する、OSSを使ったシステムによる貴社サービスの売上高の割合を、今後3年程度でどの程度にしたいと考えていますか。当てはまるものを表外の選択肢群から選択して下さい(アルファベットを記入)。

IT関連事業の売上高に対する、OSSを使ったシステムによる貴社サービスの売上高の割合

()

<選択肢群>

(A) 1~10% (B) 11~20% (C) 21~30% (D) 31~40% (E) 41~50%
(F) 51~60% (G) 61~70% (H) 71~80% (I) 81~90% (J) 91~100%

Part8. 貴社の顧客状況について

問8-1. OSSを利用したソリューションを展開するにあたって、貴社のターゲット業種を現在と今後(3年後)それぞれ選択してください。(複数選択可)

業種	現 状 ☑欄(複数選択可)	今後(3年後) ☑欄(複数選択可)
1. 製造業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 卸売・小売業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. サービス業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 金融・保険業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 公益企業(電気・ガス・水道・電話等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 官公庁・自治体・外郭団体・学校	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 個人市場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 特にターゲットは設定していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問8-2. 貴社の顧客からOSSを利用したシステム開発等の引き合いの状況について、次のうち最も近いものを1つ選択してください。

OSSを利用したシステム開発等の引き合いの状況	☑欄 (1つ選択)
1. 増えている	<input type="checkbox"/>
2. 変化はない	<input type="checkbox"/>
3. 減っている	<input type="checkbox"/>

問8-3. 貴社において増えている引き合いの内容として下記の中で該当するものをすべて選択してください。また、選択した内容について、増加している案件の特徴として当てはまるものをすべて選択してください。(複数選択可)

引き合いの増えている OSS を利用したシステム開発等の内容	☑欄 (複数選択可)	案件の特徴 (カッコ内は別添資料①の記号をご記入ください)
1. メインフレームやレガシーシステムからLinuxサーバへの移行	<input type="checkbox"/>	移行対象は: <input type="checkbox"/> 大型汎用機/ <input type="checkbox"/> オフコン / <input type="checkbox"/> その他()
2. 商用 UNIX サーバから Linux サーバへの移行	<input type="checkbox"/>	
3. 商用 IA サーバから Linux サーバへの移行	<input type="checkbox"/>	
4. 商用 DBMS から OSS の DBMS への移行	<input type="checkbox"/>	移行先は: ()
5. LAMP や LAPP を利用した Web アプリケーションシステムの開発・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
6. OSS の Web サーバを使用した Web サイト構築・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
7. OSS の CMS や SNS サーバ等を使用した Web サイト構築・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
8. OSS のアプリケーション開発用ミドルウェアを利用した案件	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
9. OSS の開発言語を利用した案件	<input type="checkbox"/>	使用した言語は: ()
10. OSS の業務用アプリケーションの導入・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
11. OSS のデスクトップアプリケーションの導入支援	<input type="checkbox"/>	対象ソフトは: ()
12. OSS のメールサーバ、ファイルサーバ、認証サーバ等の導入・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
13. OSS の運用管理支援システム等の導入・運用	<input type="checkbox"/>	使用したソフトは: ()
14. これらに当てはまらない事例	<input type="checkbox"/>	具体的に()

問8-4. OSSに関して、貴社の顧客が肯定的に評価している点を選択してください。(複数選択可)
 (注)日頃、顧客と接する中で感じていることをお答えください。

貴社の顧客が評価している点	☑欄(複数選択可)
1. 導入コスト(初期コスト)が低減できる点	<input type="checkbox"/>
2. 運用コストが低減できる点	<input type="checkbox"/>
3. ベンダー依存性が排除できる点	<input type="checkbox"/>
4. 関連する情報が豊富に存在している点	<input type="checkbox"/>
5. バージョンアップが頻繁になされている点	<input type="checkbox"/>
6. ある程度実用に耐えうる性能、信頼性が備わってきた点	<input type="checkbox"/>
7. 顧客側でソースコードを参照、修正できるようになる点	<input type="checkbox"/>
8. 一部のOSS ではデファクトスタンダードになるほど普及率が高い点	<input type="checkbox"/>
9. 評価していない	<input type="checkbox"/>
10. わからない	<input type="checkbox"/>
11. その他 ()	<input type="checkbox"/>

問8-5. OSSに関して、貴社の顧客が懸念している点を選択してください。(複数選択可)
 (注)日頃、顧客と接する中で感じていることをお答えください。

貴社の顧客が懸念している点	☑欄(複数選択可)
1. 顧客社内にOSS のシステムを管理できる人材がいない点	<input type="checkbox"/>
2. 存在するOSS では機能が不十分な点	<input type="checkbox"/>
3. 存在するOSS で実現できることがわかりにくい点	<input type="checkbox"/>
4. 存在するOSS では顧客の業務、実務にマッチしない点	<input type="checkbox"/>
5. ベンダー、SI 事業者の保守・サポート体制が不安な点	<input type="checkbox"/>
6. ベンダー、SI 事業者の保守・サポートが長期的に保証されない可能性がある点	<input type="checkbox"/>
7. 導入実績(事例)の紹介が少ない点(信頼性、安定性に懸念がある)点	<input type="checkbox"/>
8. 既存アプリケーションとの接続性が悪い点	<input type="checkbox"/>
9. システム移行に対する懸念が大きい点	<input type="checkbox"/>
10. 導入コスト(初期コスト)が高いと考えている点	<input type="checkbox"/>
11. 運用コストが高いと考えている点	<input type="checkbox"/>
12. 導入までの期間が商用パッケージに比べて長い点	<input type="checkbox"/>
13. 懸念を抱いていない	<input type="checkbox"/>
14. わからない	<input type="checkbox"/>
15. その他 ()	<input type="checkbox"/>

Part9. OSS の中小企業や地方経済への影響について

問9-1. 貴社におけるOSSコミュニティへの関わりについて、最も近いものを1つお選びください。

OSSコミュニティへの関わり	☑欄 (1つ選択)
1. OSSコミュニティへの参加を会社として推奨・支援している	<input type="checkbox"/>
2. 会社としては特に推奨・支援していないが、社員個人ではOSSコミュニティへ参加している	<input type="checkbox"/>
3. 会社としても社員個人でもOSSコミュニティへの参加は特にしていない	<input type="checkbox"/>
4. OSSコミュニティへの参加状況はよくわからない	<input type="checkbox"/>
5. その他()	<input type="checkbox"/>

問9-2. OSSが一層普及するために、地方の顧客企業に対する施策として有効だと考えられるものを選択してください。(複数選択可)

地方の顧客に対する施策	☑欄 (複数選択可)
1. OSS に関するメリットや成功事例を公開し認知度を高める	<input type="checkbox"/>
2. 地方の顧客企業のIT 担当者への啓蒙活動を行う	<input type="checkbox"/>
3. 地方の顧客企業の経営層への啓蒙活動を行う	<input type="checkbox"/>
4. OSS によるシステム開発に対応できる地元の情報サービス企業を増やす	<input type="checkbox"/>
5. 地域レベルでのOSS サポート体制を構築する	<input type="checkbox"/>
6. 顧客向けの教育手段を整備する	<input type="checkbox"/>
7. 地方自治体、公共機関でのOSS 利用を増やす	<input type="checkbox"/>
8. 地方自治体、公共機関で「オープンな標準(注)」に基づいた要求要件での調達を増やす	<input type="checkbox"/>
9. わからない	<input type="checkbox"/>
10. その他()	<input type="checkbox"/>

(注)「オープンな標準」とは「(1)開かれた参画プロセスの下で合意され、具体的仕様が実装可能なレベルで公開されていること、(2)誰もが採用可能であること、(3)技術標準が実現された製品が市場に複数あること、のすべてを満たしている技術標準」を指す。政府の各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議で「情報システムに係る政府調達の基本指針」では調達仕様書において要求要件の記載は「オープンな標準」に基づくものを優先するものと定められた。

問9-3. OSS が一層普及するために、地方のIT 企業(特に中小企業)に対する施策として有効だと考えられるものを選択してください。(複数選択可)

地方のIT企業向けに対する施策	☑欄 (複数選択可)
1. 地域におけるOSS 活用成功事例を公開していく	<input type="checkbox"/>
2. OSS を利用したIT ソリューションの「営業・提案力」を向上させる	<input type="checkbox"/>
3. OSS を利用したIT ソリューションの「技術力」を向上させる	<input type="checkbox"/>
4. 横の連携を実現するOSS に関する地域コミュニティを構築する	<input type="checkbox"/>
5. 地方自治体、公共機関がOSS を利用した公共調達を積極的に行う	<input type="checkbox"/>
6. 中小の情報サービス企業向けの教育手段を整備する	<input type="checkbox"/>
7. わからない	<input type="checkbox"/>
8. その他()	<input type="checkbox"/>

Part10. 利用促進施策について

問10-1. 以下のようなOSS利用に関する人材育成や人材確保面での施策について、貴社が利用してみたいと考えるものをいくつかもお選びください。(複数選択可)

人材育成に関わるOSS利用促進施策	☑欄(複数選択可)
1. OSS人材の体系的な育成参照システム(ITスキル標準のOSS版)	<input type="checkbox"/>
2. OSSのeラーニングシステム	<input type="checkbox"/>
3. OSS人材に対する表彰制度・認定制度(OSSアワード)	<input type="checkbox"/>
4. OSSの人材育成に特化したコミュニティ	<input type="checkbox"/>
5. OSS人材育成に関するシンポジウムの開催	<input type="checkbox"/>
6. 海外のOSS人材との交流制度	<input type="checkbox"/>
7. OSS人材のインターンシップ制度	<input type="checkbox"/>
8. OSS人材育成の標準的な教材の提供	<input type="checkbox"/>
9. OSS人材育成の取組事例集	<input type="checkbox"/>
10. その他 ()	<input type="checkbox"/>

問10-2. 以下のレベル別人材育成に関わるOSS利用促進施策について貴社が実際に利用したいと考えるものをすべてお選びください。(複数選択可)

レベル別人材育成講座等の利用意向	☑欄(複数選択可)
1. OSS 技術者の育成講座(基本レベル)	<input type="checkbox"/>
2. OSS 技術者の育成講座(応用レベル)	<input type="checkbox"/>
3. OSS 技術者の育成講座(ITスペシャリスト)	<input type="checkbox"/>
4. OSS 技術者の育成講座(プロジェクトマネジメント)	<input type="checkbox"/>
5. OSS 技術者の資格試験(情報処理技術者試験等)	<input type="checkbox"/>

問10-3. 以下の技術サポートやライセンスに関わるOSS利用促進施策について貴社が実際に利用したいと考えるものをすべてお選びください。(複数選択可)

技術サポートやライセンスに関わるOSS利用促進施策	☑欄(複数選択可)
1. 信頼できる技術サポートセンターの設置	<input type="checkbox"/>
2. OSS コミュニティへの平易な参加窓口の設置	<input type="checkbox"/>
3. OSS 技術資料が整理されたポータルサイト	<input type="checkbox"/>
4. OSS 技術資料の日本語化データベースの提供	<input type="checkbox"/>
5. OSS のライセンス体系のわかりやすい参照情報の提供	<input type="checkbox"/>
6. OSS のライセンスに特化したサポートセンターの設置	<input type="checkbox"/>

Part11. OSSの種類別の認知・利用について

以下の設問は回答用紙が異なりますのでご注意ください(回答用紙は別添資料)。

問11-1. 別添資料①「技術区分と主なOSS一覧表」にOSS認知・利用状況に関する欄があります。各OSSについて、貴社の認知・利用の状況を選択肢から1つ選んで☑を記入してください。

問11-2. 別添資料②「ITソリューション区分」に「OSS利用状況」の欄があります。各「ソリューションテーマ」について、貴社のOSS利用状況を選択肢から1つ選んでお答えください。また、各「ITソリューション区分」について、「ソリューションテーマ」のうち最もOSSを利用しているものをそれぞれ☑を記入してください。

(注)問11-1と問11-2にお答えいただいた方は、別添資料①と別添資料②が回答用紙となりますので、あわせて返信いただけますようお願い致します。

質問は以上です。ご協力 誠にありがとうございました。

大変お手数ですが、回答用紙および別添資料①②を同封の返信用封筒に入れ、8月24日(月)までにご返送ください。

別添資料①「技術区分と主な OSS 一覧表」

記号	技術区分	中分類	小分類	OSS名	今回調査で追加したOSS	記号	現在利用している	現在利用していないが、今後利用する	知っているが利用しない	知らない			
A-1	Unix/Linux			Asianux	追加	A-1							
A-2				CentOS									
A-3				Debian GNU/Linux									
A-4				Fedora Core									
A-5				FreeBSD									
A-6				Google Chrome OS			追加	A-6					
A-7				KNOPPIX			追加	A-7					
A-8				MIRACLE LINUX				A-8					
A-9				MontaVista Linux , Lineo uLinux 等の組込み向け Unix/LinuxOS			追加	A-9					
A-10				Open/SUSE Linux				A-10					
A-11				OpenSolaris				A-11					
A-12				Red Hat Enterprise Linux				A-12					
A-13				SUSE Linux Enterprise Server				A-13					
A-14				Turbolinux Server				A-14					
A-15				Ubuntu Linux				A-15					
A-16				Vine Linux				A-16					
B-1	ミドルウェア	Webサーバ		Apache HTTP Server		B-1							
B-2				Squid		B-2							
B-3		メールサーバ	SMTPサーバ		Postfix		B-3						
B-4					qmail		B-4						
B-5					Sendmail		B-5						
B-6			POP/IMAPソフトウェア			Courier-IMAP		B-6					
B-7						Cyrus-IMAP		B-7					
B-8						Dovecot		B-8					
B-9						qpopper		B-9					
B-10			メーリングリストソフトウェア			fml		B-10					
B-11						Mailman		B-11					
B-12			アンチスパム・アンチウイルスメールソフトウェア			CramAV		B-12					
B-13						SpamAssassin		B-13					
B-14			Webメールソフトウェア			Scalix		B-14					
B-15						SquirrelMail/RoundCubeMail		B-15					
B-16						Zimbra		B-16					
B-17			FTPサーバ			vsftpd		B-17					
B-18			ファイルプリントサーバ			Samba		B-18					
B-19		その他のネットワーク関連サーバ等			Asterisk		B-19						
B-20					BIND		B-20						
B-21					dhcp3		B-21						
B-22		メッセージングソフトウェア			IRC		B-22						
B-23					Jabber		B-23						
B-24					XMPP		B-24						
B-25		セキュリティ、認証			OpenLDAP		B-25						
B-26					OpenSSH		B-26						
B-27					OpenSSL		B-27						
B-28		侵入検知ソフトウェア			Snort		B-28						
B-29					Tripwire		B-29						
B-30		RDBMS			Firebird		B-30						
B-31					MySQL		B-31						
B-32					PostgreSQL		B-32						
B-33		DBMS用Cluster構成ミドルウェア			MySQL Cluster		B-33						
B-34					PGCluster		B-34						

記号	技術区分	中分類	小分類	OSS名	今回調査で追加したOSS	記号	現在利用している	現在利用していないが、今後利用する	知っているが利用しない	知らない
B-35				pgpool		B-35				
B-36				PostgresForest		B-36				
B-37				Slony-I/Slony-II		B-37				
B-38		ORマップ		Hibernate	追加	B-38				
B-39				iBatis	追加	B-39				
B-40		フォント		IPAフォント	追加	B-40				
B-41		組込み向けミドルウェア		CABI	追加	B-41				
B-42				Android	追加	B-42				
B-43				WideStudio/MWT		B-43				
C-1	パッケージ型ソフトウェア	業務アプリケーション		Compiere		C-1				
C-2				EC-CUBE	追加	C-2				
C-3				Hoop	追加	C-3				
C-4				osCommerce		C-4				
C-5				SalesLabor		C-5				
C-6				SugarCRM		C-6				
C-7				Zen Cart	追加	C-7				
C-8		データ管理		Shared Questionnaire System		C-8				
C-9		スケジュール		Lightning		C-9				
C-10				Sunbird		C-10				
C-11		図形、グラフ、画像		blender		C-11				
C-12				freemind	追加	C-12				
C-13				GIMP		C-13				
C-14				gnuplot		C-14				
C-15				Inkscape		C-15				
C-16				POV-Ray		C-16				
C-17		文章入力		Anthy		C-17				
C-18		オフィスソフト		OpenOffice.org		C-18				
C-19		メーラ		Evolution		C-19				
C-20				Sylpheed		C-20				
C-21				Thunderbird		C-21				
C-22		インスタントメッセージ		aMSN		C-22				
C-23		ブラウザ		Firefox		C-23				
C-24		検索ツール		HyperEstraier		C-24				
C-25				Namazu		C-25				
C-26				Senna		C-26				
C-27		コンテンツ管理ソフトウェア(CMS),Blog管理ソフトウェア,ソーシャルネットワークソフトウェア(SNS)等		b2evolution		C-27				
C-28				Movable Type		C-28				
C-29				WordPress		C-29				
C-30				MediaWiki		C-30				
C-31				Pukiwiki		C-31				
C-32				concrete5	追加	C-32				
C-33				Drupal		C-33				
C-34				Geeklog	追加	C-34				
C-35				NetCommons	追加	C-35				
C-36				Plone		C-36				
C-37				XOOPS		C-37				
C-38				島根県CMS	追加	C-38				
C-39				OpenPNE		C-39				
C-40		GIS		GRASS		C-40				
C-41				MapServer		C-41				
C-42		e-ラーニング		Moodle		C-42				
C-43		仮想端末		Poderosa	追加	C-43				
C-44				Tera Term	追加	C-44				

記号	技術区分	中分類	小分類	OSS名	今回調査で追加したOSS	記号	現在利用している	現在利用していないが、今後利用する	知っているが利用しない	知らない	
D-1	アプリケーション開発	ウェブアプリケーション開発	Java言語向け	Apache Geronimo		D-1					
D-2				Glassfish	追加	D-2					
D-3				JBoss		D-3					
D-4				Seasar2		D-4					
D-5				Spring framework		D-5					
D-6				Struts		D-6					
D-7				Tomcat		D-7					
D-8			Ruby向け	Ruby on Rails		D-8					
D-9			PHP向け	Ethna		D-9					
D-10				Zend PHP Framework		D-10					
D-11			Python向け	Zope		D-11					
D-12			専用言語(XMLベース)	OpenLaszlo		D-12					
D-13		言語	C/C++(gcc)		D-13						
D-14				Java (Sun JDK)		D-14					
D-15		スクリプト言語		Perl		D-15					
D-16				PHP		D-16					
D-17				Python		D-17					
D-18				Ruby		D-18					
D-19		統合開発環境		Eclipse		D-19					
D-20				NetBeans		D-20					
D-21		性能評価・テスト・ログ出力		DJUnit	追加	D-21					
D-22				JMeter		D-22					
D-23				JUnit		D-23					
D-24				Log4J		D-24					
D-25				OSDL DBT-1 / DBT-3		D-25					
D-26		開発支援	ソースコード管理	CVS		D-26					
D-27				Subversion		D-27					
D-28				構築支援	Ant		D-28				
D-29					autoconf/automake		D-29				
D-30			TortoiseSVN		追加	D-30					
D-31			デバッグ	gdb		D-31					
D-32				insight		D-32					
D-33				valgraind		D-33					
D-34			DBMS管理ツール	MySQLAdministrator	追加	D-34					
D-35				pgAdminIII	追加	D-35					
D-36		プロジェクト管理		Bugzilla	追加	D-36					
D-37				Dotproject		D-37					
D-38				GanttProject	追加	D-38					
D-39				redMine	追加	D-39					
D-40				Trac		D-40					
E-1	運用保守	Webログ解析ソフト	Analog		E-1						
E-2			AWStats		E-2						
E-3			Webalizer		E-3						
E-4		運用監視		Hinemos		E-4					
E-5				Nagios		E-5					
E-6				Webmin		E-6					
E-7				ZABBIX	追加	E-7					
E-8		ネットワーク監視		MRTG		E-8					
E-9				NET-SNMP		E-9					
E-10		遠隔端末	VNC		E-10						
E-11		仮想化	Xen		E-11						
E-12		クラウド・SaaS		Eucalyptus	追加	E-12					
E-13				Hadoop	追加	E-13					

別添資料②「ITソリューション区分」

「最も利用する」は
各「ITソリューション区分」の
中で最も OSS を利用するソリュー
ションテーマにチェックをつ
けてください

ITソリューション 区分	番号	ソリューションテーマ	OSSの利用状況 (それぞれ☑1つ)				OSSを最も利用している(太枠毎に1つ)	代表的な例
			現在利用しており今後も利用する	現在利用していないが、今後利用する	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用おらず、今後も利用しない		
インフラソリューション	F-1	サーバ構築					サーバOSの導入・設定・カスタマイズ	
	F-2	ネットワーク構築					電子メール、ファイアウォール、VPN構築	
	F-3	ミドルウェア導入					ミドルウェアの導入・設定、ファイル共有、DB構築、LAN設定、samba導入	
	F-4	グループウェア					社内ポータル、電子会議、掲示板、スケジュール管理、ワークフロー	
	F-5	Webサイト(情報発信)					社内外向け設定、コンテンツ作成	
基幹系システム ソリューション	G-1	引合・営業					SFA、見込み客管理、引合管理システム、顧客問い合わせ対応	
	G-2	購買・販売管理					購買・販売システム、EDI、決済サービス、電子商取引、通販管理、CTI、ネットバンキング等	
	G-3	在庫管理					在庫管理システム	
	G-4	生産管理					生産管理システム、プロジェクト管理システム	
	G-5	物流					物流管理システム、倉庫管理システム	
管理系システム ソリューション	H-1	人事・給与・勤怠管理					人事業務、給与計算システム、勤怠管理システム、出張旅費管理システム	
	H-2	財務会計					債権債務管理、一般会計、固定資産管理、資金管理、連結	
	H-3	管理会計					原価管理システム、予算管理、損益管理	
情報系システム ソリューション	I-1	顧客情報管理・分析					CRM(主として基幹系システムから情報を取得して分析を行うシステム)	
	I-2	経営情報管理・分析					BI、SEM、DWH(主として管理系システムから情報を取得して分析を行うシステム)	
運用・保守 ソリューション	J-1	システム運用					SLAによるサービス全般	
	J-2	セキュリティ運用					監視、障害対応	
	J-3	ネットワーク運用					監視、障害対応	
	J-4	OS保守					パッチ対応、バージョンアップ	
	J-5	ミドルウェア保守					パッチ対応、バージョンアップ	
	J-6	アプリケーション保守					パッチ対応、バージョンアップ	
情報提供 ソリューション	K-1	データベースサービス					気象情報、交通情報、不動産情報などの提供サービス	
	K-2	ポータルサイト					ウェブ情報検索サービス	
	K-3	ECサイト運営					インターネット・ショッピングサイト運営	
	K-4	IDCサービス					ホスティング	
組込みシステム ソリューション	L-1	情報家電・生活家電					情報家電・生活家電向けの組込みシステムの開発	
	L-2	携帯電話					携帯電話向けの組込みシステムの開発	
	L-3	自動車					自動車向けの組込みシステムの開発	
	L-4	ロボット					産業用ロボット、家庭用ロボットの組込みシステムの開発	